

ボツワナを代表するアート：Kuru Art のご紹介

在ボツワナ日本国大使館
令和6年5月8日

ボツワナ西部の Ghanzi (ハンチ) から北東 35km に位置する D'kar Village (ディカール村) には、NGO 組織 (The Kuru Development Trust) により立ち上げられた Kuru Art プロジェクトの拠点があります。これは 1990 年に開始された同プロジェクトを通じて施設が整備されたもので、アーティストのための作品工房、展示ギャラリーとして使用されています。作品工房では制作中のアーティストに会うこともでき、ギャラリーの見学、絵画作品等の購入も可能です。それぞれのアーティストが描く作品は個性的で、動物や日常生活の様子を描く作品からは、ボツワナの伝統的な暮らしぶりが大変良く分かります。

カラハリ砂漠で暮らしていた狩猟採集民族の多くは、ボツワナ政府の政策により、セントラルカラハリ自然保護区の周辺に定住しています。ディカール村周辺には、ナロ族やサン族と呼ばれる民族がいます。現在、ディカール村の約 20 名の絵画アーティスト (油絵、版画等)、約 50 名のクラフト・アーティスト (ブレスレット、アクセサリ、刺しゅう入りバック等) がプロジェクトに関わっており、同地域の文化保護及び貴重な収入源の確保につながっています。

また、Kuru Art に隣接する敷地には、NGO 組織 (Kuru D'kar Trust) が管理する Kuru Museum があります (入場料：50 プラ)。不定期ですが、ワークショップが行われており、同地域の伝統的なダンスや狩猟、自然のものを利用したクラフト作成が体験できます。

ナロ族やサン族のアート、同地域の文化・歴史に関心がある方は、ぜひ一度、ディカール村を訪れてみてください。

なお、ボツワナ北部には、カラハリ砂漠に広がる鮮やかな 4500 以上の岩絵群が分布する「ツォディロ」丘陵があり、2001 年に世界文化遺産に登録されています。紀元前 4000 年頃と推定されているこの岩壁画を描いたのは、サン族の祖先にあたる人々でもあります。

Kuru Art

HP : <https://kuruart.com/>

FB : <https://www.facebook.com/KuruArt/>

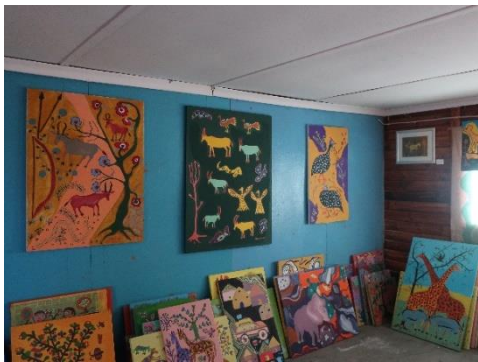
1 Kuru Art



作品工房



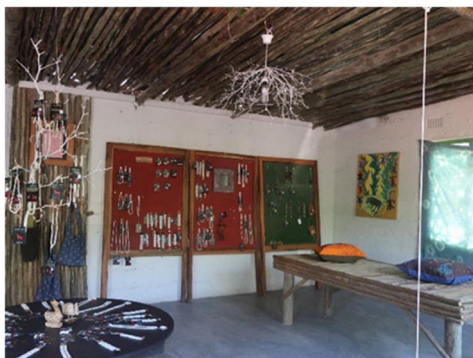
建物外壁のアート



絵画作品



絵画制作中のアーティスト



アクセサリ等の販売



絵画、アクセサリ等の販売

2 Kuru Museum



ミュージアム外観



展示の様子